

実施報告書

令和 7年度「校庭芝生化地域連携事業」実施(経過)報告書

区市町村名 八王子

学校名 八王子 立 第四小学校

1 事業目的 協議会名 八王子市立第四小学校芝生実行委員会

第四小学校の校庭芝生化を通じて、子どもたちが自然と触れ合える環境を整備するとともに、学校と地域が連携した仕組みづくりを推進することを目的とする。芝生の維持管理活動や校庭芝生を活用した多様な活動を展開することで、子供たちの健全育成と地域コミュニティの活性化を図る。

2 主な取組と成果

予算を「環境維持(ハード面)」と「教育的活用理運営」の両輪で活用した。

- ・小学校芝生協議会(月1回)の定例会議を行い、運用面、整備面の確認と計画をたてた。芝生の機械講習会や芝生管理作業(週1回)へ参加していただき、芝生を年間を通じてきれいな状態で保持することができた。
- ・体力の向上と運動機会の増加(4月～11月):転倒への恐怖心がない芝生環境により、子どもたちが積極的に身体を動かすようになった。特に、体育の授業における体全体を使った動きや休み時間の多様な遊びが定着した。時には裸足になり組み合わせ運動に親しんでいた。
- ・安全性の向上と怪我の防止:土の校庭に比べ衝撃が緩和されるため、擦り傷等の軽微な怪我が減少した。これにより、低学年児童も安心して活動できる場となっている。
- ・良好なコミュニティの形成:報償費を活用し、地域ボランティアや専門家を交えた整備体制を構築したことで、「自分たちの手で芝生を守る」という意識が教職員にも児童にも醸成された。会議を通じた意見交換により、学校と地域の連携がさらに深まった。
- ・運動会では、芝生の上にテントを配置し、涼しい環境を提供することができた。敬老の方の暑さ対策に大きく貢献した。
- ・環境教育への波及:丁寧に整備された芝生を維持するプロセスを間近で見せる(養生期間に禁止になる時期も含めて)ことで、子どもたちが環境保護や公共物の管理の大切さを学ぶ機会となった。

3 取組内容

【定例会議】実施日 毎月第2金曜日 1会議11名、年間14回実施
対象者 第四小学校芝生実行委員会(第四小教職員、父の会、地域の会 代表)
主な議題:芝生の維持管理について、芝生整備事業の広報について、芝生の整備への呼びかけについて



【芝生をいかした学習活動】4月から11月

・芝生のクッション性を最大限に活かし、以下の単元で積極的に活用した。

①体作り運動(ごっこ遊び):低学年を中心に、這い回るなどのごっこ遊び、鬼遊びを裸足で行った。土の校庭ではためらう動きも、芝生の上ではのびのびと行えた。

②複数人の組み合わせ運動:二人組での手押し車や回転運動など、身体を密着・接触させる運動を安全に実施した。

③タグラグビー・大縄跳び:激しい動きやジャンプを伴う運動において、足腰への負担を軽減しながら活動できた。特にタグラグビーでは、芝生の上で思い切り走り回る姿が見られた。(タグラグビー講座 2月19日(木)3学年)

【休み時間・課外活動での活用】

④休み時間のキャッチボール開放:通常は硬い地面で制限されがちなキャッチボールを、芝生エリアで開放。安全に配慮しながら、投球・捕球能力の向上を図った。(4月～11月)

【維持管理・組織運営】

⑤専門家による技術指導:講師を招聘し、機械講習及び芝生のメンテナンスの指導を受けた。芝生機械講習及び芝生講習 5月22日(木)

⑥地域連携と協力体制の構築:整備に協力いただいた方々への報償や、芝生会議(飲料代含む)の開催を通じて、持続可能な管理体制を維持した。



4 今後について

- ・児童による主体的な活動の促進:これまでは「教員や大人が整備し、子どもが使う」という形が中心でしたが、今後は子どもたちが芝生への愛着をさらに深める取組を強化します。
- ・教職員の芝生管理組織を活性化:担当者を明確にし、グリーンリーダーと年間を通じた密な連携を取る。
- ・保護者の参加:呼びかけの強化、活動の広報を行う。
- ・環境教育への活用:理科や生活科、総合的な学習の時間において、芝生の生態や土壌の仕組みを学ぶ「生きた教材」としての活用機会を増やす。
- ・運動機会の質の向上:芝生のクッション性を利用し、従来の体育館での活動を屋外へ広げる可能性を検討する。
- ・児童の交流の場として:縦割り遊びの工夫等、芝生を介した学年を超えたコミュニケーションを活性化していく。
- ・芝生を学校・地域の共有財産と位置づけ、地域への活用方法を検討し、学校を核とした地域防災や交流の場としての機能を高めていけるとよい。